



電動車椅子サッカーカードコミュニケーション映画

『蹴る』 上映会&トークショー

誰にも負けない、誰にも止められない。

蹴る

電動車椅子サッカーカードコミュニケーション映画

歩けなくても呼吸器をつけていても、できるサッカーはある。世界へ挑んだ選手たちの激闘から日常や恋愛までを描いた6年間の物語。



永岡真理 東武範

北沢洋平 吉沢祐輔 竹田敦史 三上勇輝 有田正行 飯島沈洋 内橋翠 内海恭平 塩入新也
北澤豪 (日本障がい者サッカー連盟会長)

監督:中村和彦(「ブライド inブルー」「アイ・コンタクト」「MARCH」)

プロデューサー:中村和彦 森内康博 撮影:堺斗志文

録音:藤口諒太 監音:鈴木昭彦 音楽:森内清敬 宣伝デザイン:イングラフィカ 松本力

後援:(公財)日本サッカー協会 (公財)日本障がい者スポーツ協会 (一社)日本障がい者サッカー連盟 (一社)日本電動車椅子サッカー協会
(特非)日本ブラインドサッカー協会 (一社)横浜市医師会 (一社)日本筋ジストロフィー協会 (一社)全国肢体不自由児者父母の会連合会 SMA家族の会
製作:「蹴る」製作委員会(中村和彦+ら(だ)スタジオ) 配給:「蹴る」製作委員会+ヨコハマ・フットボール映画祭 助成:文化庁文化芸術振興費補助金

1時間58分/日本語/2018年/日本映画 ©「蹴る」製作委員会

文部科学省 特別選定(少年向き/青年向き/成人向き)

<https://keru.pictures> kerupictures kerupictures



入場無料
先着 500名
(車椅子席 8席)

2020年 1月25日(土) 13:00~ (開場 12:00)

会場: 瀬谷公会堂

相鉄線三ツ境駅徒歩 10分
瀬谷区二ツ橋町 190

★中村和彦監督と永岡真理選手(瀬谷区在住)によるトークショー(製作裏話)あり!

<同時開催> 瀬谷区内 福祉事業所バザー ※日本語字幕版にて上映、手話通訳・PC通訳あり

主催: 瀬谷区障害者地域自立支援協議会(せやまんまるねっと) 後援: 瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会

【お問合せ】 瀬谷区役所 高齢・障害支援課 電話 045-367-5715 FAX 045-364-2346





重度の障害がありながらも、電動車椅子サッカーに人生を賭ける選手たち。世界へ挑む彼らの、競技にかける想いや日々の葛藤を追った、6年間の物語。

永岡真理は生まれながらにして難病「SMA(脊髄性筋萎縮症)」を患い、生涯で一度も歩いたことがないが、ひとたび試合が始まれば華麗かつ激しいプレーで観客を魅了する。東武範は筋ジストロフィーにより呼吸器が手放せず食事を摂ることも辛い。国内でも屈指の実力を誇る。真剣なトレーニング、家族のサポート、自らの障害との折り合い、恋愛模様、そして夢のワールドカップ。映画『蹴る』は、永岡・東を中心に電動車椅子サッカーワールドカップを目指す選手達を6年間に渡り追い続けたドキュメンタリー映画である。

電動車椅子サッカーは「生きることそのもの」



2011年7月、電動車椅子サッカー日本代表の強化試合。私の目は唯一の女性選手、永岡真理に釘づけになった。彼女と初めて相対した私は思わず口走った。「あなたは今後日本代表に選ばれると思う。4年後のワールドカップにチャレンジする姿を是非撮らせてほしい」。

そこから資金のあてもないまま独りで撮影を開始した。選手たちの障害を知るため、資格を取り介護の仕事も始めた。ワールドカップが2年延期になったことで、撮影期間は6年以上に。その分選手たちとの信頼関係が深まり、本音をさらけ出してもらえるようになった。

選手たちの障害、プレースタイルや性格は様々だが、共通するのは競技に対する想いの強さ。そんな選手たちの想いを映像に刻み込みたい、その一心で撮影に打ち込んだ。

この映画を通して、電動車椅子サッカーの魅力を多くの人に知ってほしい。選手たちの想いを感じてほしい。生きる姿に目を向けてほしい。きっと“障害者”に対する見方も変わるはずだ。

映画『蹴る』監督 中村和彦

電動車椅子サッカーとは？

電動車椅子に乗った4名の選手が、ドリブル、パス、回転シュートを駆使しての対戦チームとのゴール数を競うスポーツ。選手の多くはSMA(脊髄性筋萎縮症)や筋ジストロフィー、脳性麻痺、脊髄損傷等により自立歩行できないなどの重い障害を持つ。国内では、年一度、日本一を競う選手権大会のほか、全国各地において競技イベントや健常者が参加できる大会などが行われている。日本電動車椅子サッカー協会(JPFA)には561名、40チームが登録、過去3回の全てのワールドカップに代表チームが参加している。

日本電動車椅子サッカー協会 公式サイト <http://www.web-jpfa.jp/>



ワールドカップ・フランス大会が終わった失意の中、出会ったのが電動車椅子サッカーの仲間だった。医者に止められてもプレーを続ける姿に背中を押されて私はピッチに戻った。彼らの真剣さ、勇気を受け止めてください。

FC今治オーナー 岡田武史

「生きていくということが当たり前だと思わずに生活しています」という肉声に胸が刺さった。「蹴る」ことは彼ら、彼女らにとってはすなわち「生きる」ことなのだ。壮絶な蹴り様、生き様を中村和彦監督はここに刻印した。

ノンフィクションライター 木村元彦

電動車いす歴30年以上を誇る私なら、そこそこやれるだろうと挑んでみた。ところが、まったく歯が立たなかった。電動車いすで、あれほどの迫力と躍動感を生み出せるなんて脱帽!!

作家 乙武洋匡



まんまるフェスタ ザ・ムービー

12:00 開場
13:00 映画上映
15:00 トークショー(製作裏話)あり!
15:30 終了

<同時開催> 瀬谷区内福祉事業所バザー
パンフレット、映画関連グッズ販売
イベント終了後中村監督サイン会あり

※イベント中休憩時間はございません 各自でご自由にお取りください。

